



## 中国絵本館シリーズ ④

発売2020年

4月下旬!

# 『ゆめみるへや』

定価：本体1,500円+税

32頁 23×22cm C8797

ISBN978-4-901769-90-7

対象年齢：読んであげるなら3歳から

### 中国絵本の「いま」をお届けするシリーズ、第4弾!

毛虫のゆめは、花がさきチョウチョがおどるむこう岸へいくこと。ゆめみることをあきらめなかった毛虫はやがて、ゆめみるへやでながいゆめをみて――。



★いま中国の子どもたちに人気の絵本は、おそらく日本の子どもたちにとっても興味深いものではないでしょうか。

★中国で人気の作家・画家のコンビによる絵本の4作目は、1匹の毛虫の物語です。花がさきチョウの舞うむこう岸へいくことをゆめみる毛虫の視点から、ゆめみることの大切さをやさしく詩的に描いています。

#### 【作家紹介】

文/ヤン・ホンイン(楊 紅櫻)

1962年、四川省の成都に生まれ、19歳から童話を書き始める。小学校の教師、雑誌の編集者をへて児童文学作家に。「童話」シリーズや「学園小説」シリーズのほか、「いたずらっ子・馬小跳(ルビ:マー・シャオティアオ)」シリーズ、「笑い猫日記」シリーズなど作品多数。どれもベストセラー。邦訳に『ともだちになったミーとチューー』『木の耳』(樹立社)。

絵/エレヌ・ルヌヴー (Hélène Leneveu)

1958年、フランスのシェルブール=オクトヴィル生まれ。フランス国立高等工芸美術学校(ENSAAMA)でビジュアル・コミュニケーションを専攻。香港に10年在住。現在はパリでイラストレーターとして活躍。2011年、初めての絵本『ともだち』を出版、2013年に中国語版刊行。邦訳に『ともだちになったミーとチューー』『木の耳』(樹立社)。

訳者 中 由美子(なか ゆみこ)

長崎市に生まれる。縁あって中国語を学び、中国の児童文学と幸せな出会いをして現在に至る。著書に『中国の児童文学』(久山社)、訳書に『ともだちになったミーとチューー』『木の耳』『ちがうかな?へんかな?』(樹立社)、『絵本西遊記』『よあけまで』『京劇がきえた日』『火城 燃える町1938』『父さんたちが生きた日々』(童心社)、『学校がなくなった日』(素人社)ほか。

注文書		樹立社 FAX: 03-6261-7897 【新刊委託】	
部	中国絵本館シリーズ ④	文/ヤン・ホンイン(楊 紅櫻)	
	『ゆめみるへや』	絵/エレヌ・ルヌヴー	
	ISBN978-4-901769-90-7	定価: 本体 1,500円+税	
		32頁 23×22cm C8797	